

# Vol.62 / 夏季号

平成30(2018)年7月1日発行  
(年3回7・11・2月発行)

 平成30年度従業員功労表彰受賞者

 ISO/TC23/SC3会議出張報告

 アグリエボリューション東京会合

 地域未来牽引企業

 新社長の紹介









# ひま

## 日農工会報

# わり



CONTENTS

 平成30年度 第57回従業員功労表彰受賞者一覧	1
 ISO/TC23/SC3 会議出張報告	9
 フォトギャラリー	12
 健康相談	15
 アグリエボリューション東京会合の報告	
日農工専務理事 田村敏彦	16
 地域未来牽引企業	
フジイコーポレーション(株) 森田理恵	18
 日農工だより～第55回定時総会～	20
 新社長の紹介	
片倉機器工業株式会社 社長 峠 賢治	21
ヤンマーアグリ株式会社 社長 北岡 裕章	22
関東農機株式会社 社長 鈴木 吉男	23
大島農機株式会社 社長 大島 浩一	24

表紙 撮影地：弘前市(岩木山)・津軽郡(竜飛岬)  
タイトル：竜飛岬 北のはずれから

左上：残雪津軽富士(岩木山) その裾野に広がるリンゴ畑では、みちのくに初夏の訪れを告げるように、白くて可愛い花が咲き始めていました。  
右下：竜飛岬では“日本人の心の歌”石川さゆりさんの「津軽海峡冬景色」の歌碑がある小高い丘の上から、津軽海峡を一望することができます。陽気に誘われ歌ってしまいました。津軽うらう海峡おおお冬景色い～♪♪

撮影 キヤニコム 会長 包行 均

平成30年度

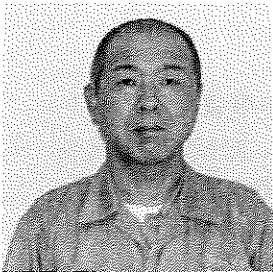
## 第57回従業員功労表彰受賞者

“合理化の促進、技術の改良開発、販売の促進等  
企業発展に著しく寄与した者に贈られる”

表彰式：平成 30 年 5 月 29 日  
於：八 芳 園（東京都港区白金台）

注：勤続年数は平成30年5月現在

### 【製造部門】



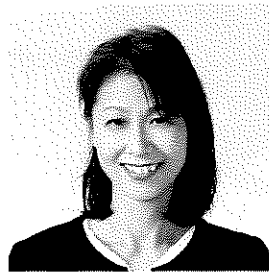
浦野 浩樹

(株)IHIアグリテック  
生産センター  
生産管理部部長  
(勤続年数 37.1年)

#### 【功績の概要】

入社当時より、生産管理部、営業企画部、物流部などで電算システムの構築、管理、保守に注力してきた。平成15年からは管理部で全社の電算システムの管理を行い、さらに総務部長の責もこなした。現在は、生産管理部部長として、工場の運営に貢献している。物事を客観的に判断でき、着実に業務を遂行しており、社内外からの信望も厚い。

また、品質向上に向けての一連の活動においても顕著な業績を上げた。

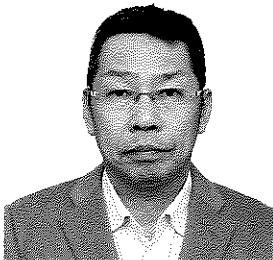


藤原 明子

キャニコム  
女性活力推進室マネージャー  
(ものづくり部門担当)兼  
生産管理line生産管理部部長  
(勤続年数 29.1年)

#### 【功績の概要】

入社以来、生産管理・調達業務に従事。「ものづくりは演歌だ」の掛け声のもと、お客様の満足向上、お取引様との関係構築に尽力し、信頼を得ている。また、新基幹システムの立ち上げにおいても中心となり、業務改善に貢献した。平成30年1月より、当社女性初の部長職に就任し、後進の育成並びに更なるお客様満足に邁進している。

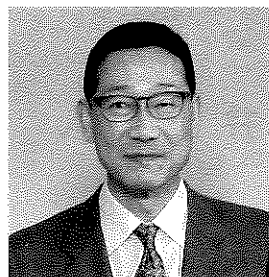


濱本 芳一

(株)神崎高級工機製作所  
生産部  
歯車課課長  
(勤続年数 33.1年)

#### 【功績の概要】

入社以来33年間、歯車製造に従事。歯車強度アップ、特にベベルギアの高強度化に向けた一連の取組みで顕著な成果を上げてきた。



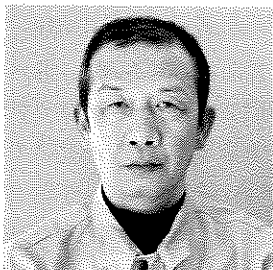
山本 修

三陽機器(株)  
精造部  
生産グループ主任  
(勤続年数 34.1年)

#### 【功績の概要】

入社以来、20年近く営業職を経験した。営業で

培ったお客様に提供する製品の品質精度を糧に、現在塗装業務において「不良ゼロで美しい塗装を！」という強い信念をもって10年以上従事している。塗装品質向上に多大な貢献をした。



## 富岡喜代一

(株)ササキコーポレーション  
生産本部生産部  
生産技術課  
(勤続年数 40.1年)

### 【功績の概要】

昭和53年入社以来40年間、生産部門一筋に歩み続け、機械加工技能士の資格を有することからも卓越した技能を発揮し、品質向上に大きく貢献し続けている。

現在は、生産技術課において治工具類の製作に携わり、生産性向上に大きく貢献している。



## 大崎聖二

(株)太陽  
生産技術部生産技術課  
専任係長  
(勤続年数 35.1年)

### 【功績の概要】

入社以来35年の長きに亘り耕うん爪の製造工程で使用する金型の補修業務を主として担当し、生産性及び品質の向上に大きく貢献した。日々の改善活動は活発で、問題解決の場面では臨機応変な対応ができるなど製造現場からの信頼は厚い。

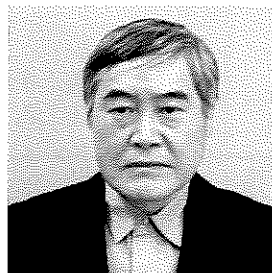


## 井上和人

(株)タカキタ  
製造本部本社工場  
受外注課（課長）  
(勤続年数 41.1年)

### 【功績の概要】

入社以来製造本部本社工場に勤務し、平成15年組立課課長心得、平成18年機械課課長心得、平成29年受外注課課長に就任し現在に至っている。同工場の生産工程及び生産現場管理責任者として業務効率の向上、コスト削減、品質向上に大いに貢献した。

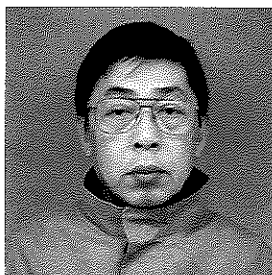


## 赤木高一

(株)デリカ  
製造部  
第1PC製造グループ  
(勤続年数 42.1年)

### 【功績の概要】

入社以来42年間生産職場の溶接作業に従事し、特に牽引型堆肥散布機では、溶接班長を務め、新規大型治具作成で合理化を推し進める一方で、人付き合いを大切に品質向上も図った。現在は、後任者の指導育成において成果を上げている。



## 横田博文

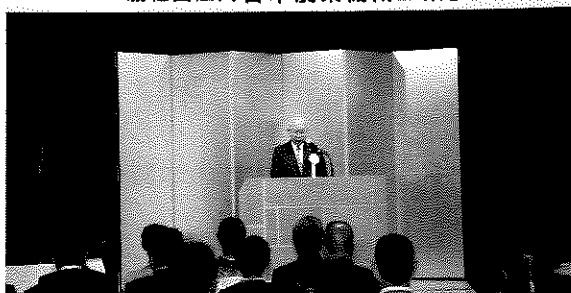
ヤンマー農機製造(株)  
高知工場  
専任部長  
(勤続年数 27.1年)

### 【功績の概要】

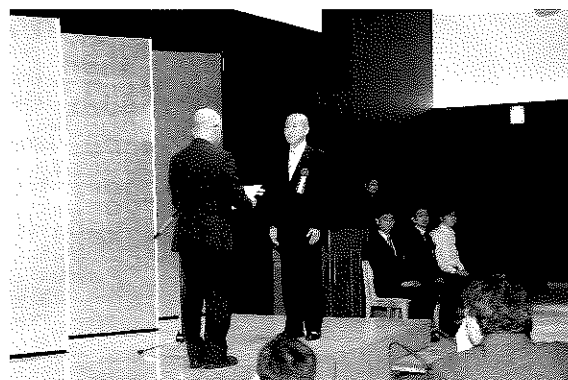
セイレイ工業(株)入社後、生産管理業務に精通し、平成19年3月より部長として従事し、高知・岡山工場の生産方式向上に尽力した。さらに、その経験を活かし、取引先であるエスイーにて部長やグループ会社の大型農機センターのセンター長を勤め、製造から販売に至るまで農業機械製造の発展に寄与した。

## 57回 従業員功労表彰

一般社団法人日本農業機械工業会



受賞者のみなさんをお祝いする木下会長



(株)IHIアグリテック 浦野浩樹さん

### [研究・開発部門]



#### 山内 丞次

(株)アテックス

研究開発部

技師

(勤続年数 35.1年)

#### 【功績の概要】

入社以来、開発・設計業務に携わり、豊富な知識とアイデアで商品価値の高い商品を開発した。また、開発部門リーダーとして電動製品の開発を牽引し、社業の発展に多大な貢献をした。開発商品は小型特殊自動車、農用運搬車、建機用運搬車、ミニローダー、電動アシストリフタ、電動車いすなどがある。



#### 安藝知恵子

有光工業(株)

開発室

研究開発課

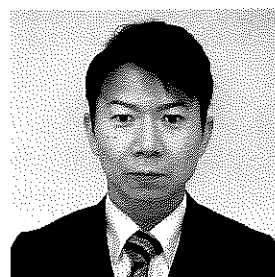
課長心得

(勤続年数 24.1年)

#### 【功績の概要】

平成6年3月入社以来、一貫して開発部門に所属

し、平成20年3月に開発室研究開発課係長、平成28年10月に同課課長心得となり部下の指導に当たる。その間、仕事に対する熱意は同僚の模範であり、温厚な人柄、旺盛な勤労意欲は表彰に値する。



#### 遠藤 忠治

小橋工業(株)

開発部

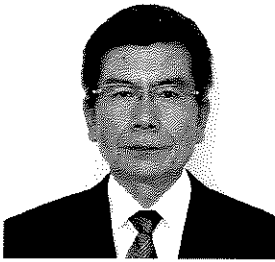
開発企画推進グループ

グループ長

(勤続年数 24.8年)

#### 【功績の概要】

平成5年入社後、あぜ塗り機の開発に携わり、困難を経てドラム式あぜ塗り機を商品化した。その後もあぜ塗り機担当として開発に携わり、社業の発展に大いに貢献した。その後、代掻き作業機担当を経て、平成28年7月から商品企画を任され、開発企画段階から量産に至るまでの流れを再構築し、新商品開発に取り組むシステムを構築するなど手腕を発揮している。

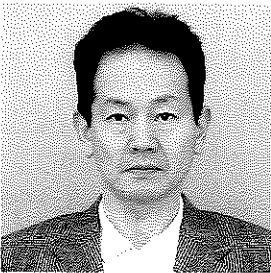


## 荒川 秀明

(株)タイガーカワシマ  
業務管理部  
次長  
(勤続年数 40.1年)

### 【功績の概要】

昭和53年入社後、技術部に配属され、選別計量機をはじめとする多くの製品を開発。平成11年からは技術部長として部下の指導育成にも尽力し、社内外からの信頼も厚い。平成25年からは業務管理部次長として社内コンピューター管理にも力を注ぎ、社業発展に大きく貢献した。



## 山崎 泰幸

(株)太陽  
開発部  
部長  
(勤続年数 34.1年)

### 【功績の概要】

入社以来、34年に亘り主力商品の耕うん爪・作業機の設計開発に従事し、業績向上に大きく貢献した。特に、耕うん性能を大幅に向上させた耕うん爪や性能と耐久性を向上させた耕うん爪の開発に携わった。今後も一層の社業発展に期待している。



## 飯野 啓司

(株)本田技術研究所  
パワープロダクツR&D  
センターPU・LGA・MRN  
開発室研究ブロック  
(勤続年数 32.11年)

### 【功績の概要】

約32年間に渡って耕うん機開発に携わり、乗用トラクタ作業部の高効率化や簡単に安定した耕うん作業を可能とする当社独自の同軸正逆転機構を

リヤタインやフロントロータリーに適用させ、農業機械の発展に大きく貢献した。

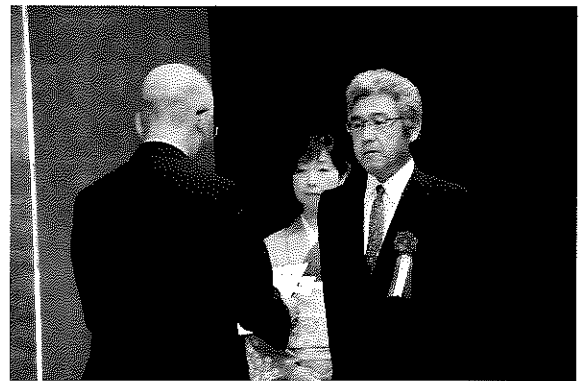


## 片平 寛

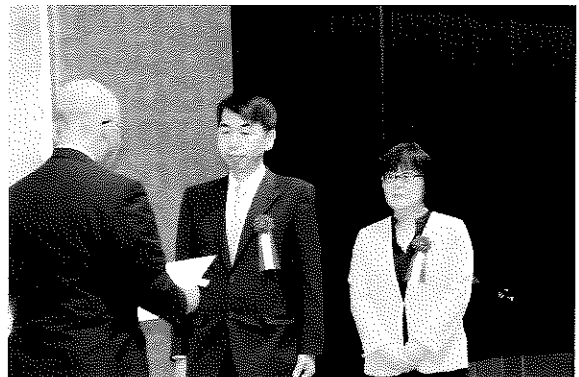
(株)山本製作所  
ソリューション事業部  
技術部  
環境グループ  
(勤続年数 30.3年)

### 【功績の概要】

勤務年数30年のうち、入社から約15年はカントリーエレベータの制御システム設計に従事し、当社カントリーエレベータ事業の発展に貢献。その後、約15年は、発泡スチロール減容機などの環境関連機器の制御システム開発に従事。電熱ヒーターを用いた発泡スチロール減容方式の基礎となる制御システムを確立し、当社環境事業拡大に大きく貢献した。



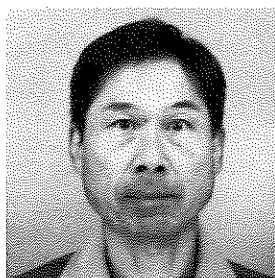
(株)アテックス 山内丞次さん



(株)山本製作所 片平 寛さん



## [管理・営業部門]



### 山田 勝弘

アグリテクノ矢崎株

営業部

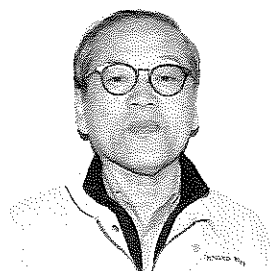
営業業務担当

シニアスタッフ

(勤続年数 21.5年)

#### 【功績の概要】

入社以来、製造管理、購買、営業の各部門で品質管理及び、製品を推進する業務に携わり、お客様に満足していただける製品拡販に尽力した。現在は、今までに培った知識を活かし営業業務部門で社業の発展に大いに貢献している。



### 山田 成昭

金子農機株

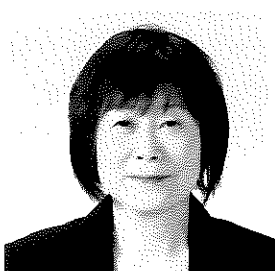
海外事業部

マネージャー

(勤続年数 42.1年)

#### 【功績の概要】

昭和51年4月入社後、仙台営業所に配属。その後、東北地域を経て西日本統括部長となり、平成25年海外事業部を担う海外担当部長として業務に精勤し、海外展開の基盤となる本社機能の向上に寄与する功績は多大である。アジア諸般の国々の情報収集等、グローバル化に向けた体制強化支援に取り組んでいる。海外展開業務の重鎮であり、海外を拠点に業務を邁進する社員の良き相談者でもある。



### 齊藤 絹子

キャニコム

女性活力推進室マネージャー

(営業・管理部門担当) 兼

財務・ICT line財務部副部長

(勤続年数 42.1年)

#### 【功績の概要】

入社以来、総務部門に所属、主に人事・経理を担当。当社での「ダイバーシティ」の取組の先駆者であり、女性初の役職者、結婚・出産後の復職等を実践。これにより、後進の復職が行い易い環境を整えた。昨年、定年を迎えたが、再雇用制度にて復職。後進の育成と共に、当社の多様性への取組に貢献している。



### 大久保 光

静岡製機株

営業本部

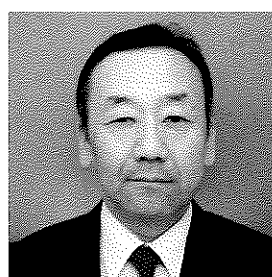
農機営業部

新潟営業所主幹

(勤続年数 28.1年)

#### 【功績の概要】

入社以来、農機営業部に所属し、3営業所を経験。新潟、北陸では所長として業務改善、新商品販売に采配を振るった。この間、乾燥機、低温貯蔵庫の販売をはじめ、乾燥施設導入、サービス業務にも積極的に取り組んだ。現在も同業務にて、担い手農家への提案、若手社員の育成など多方面で活躍し、社業発展に大きく貢献している。



### 室橋 裕

静岡製機株

営業本部

農機営業部次長兼

九州営業所所長

(勤続年数 35.1年)

#### 【功績の概要】

入社後、農機営業部、産機営業部、業務部と多方面で活躍。特に、農機営業部セールス担当時代には社内営業表彰にてセールスマンオブザイヤーを受賞した。現在は、豊富な経験を活かし、農機営業部の営業所長のリーダー的存在として活躍すると共に、業務改革や部下の指導にも手腕を発揮するなど、社業発展に大きく貢献している。



## 片岡 浩一

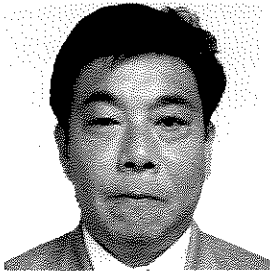
(株)太陽

東部営業所  
所長

(勤続年数 36.1年)

### 【功績の概要】

入社以来、36年に亘り営業活動を積極的に展開し、農業環境が厳しい中で業績向上に大きく貢献した。現在は、東部営業所で豊富な営業経験を活かした提案営業で顧客満足の向上に取り組み、さらに新入社員の教育も担い、今後も一層の社業発展への貢献を期待している。



## 杉本 明彦

(株)タカキタ

営業本部本州営業部  
九州営業所所長代理  
(専任課長)

(勤続年数 41.1年)

### 【功績の概要】

入社以来営業の第一線を歩み、平成14年中国営業所所長、平成20年九州営業所所長代理に就任し現在に至る。たえず営業の第一線にあって社業の発展、部下の指導育成に大きく貢献した。



## 野村 貢

ハスクバーナ・ゼノア(株)

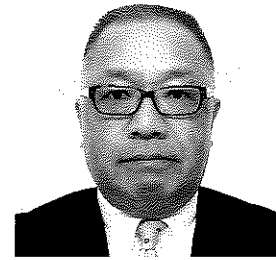
国内営業本部九州支店  
営業担当部長

(勤続年数 32.9年)

### 【功績の概要】

昭和60年入社後、営業職として各地を歴任。平成13年より北海道支店長、平成17年より東北支店長として勤務し、東日本大震災の際には、的確な初期動作と臨機応変な対応で早期に事業を再開

すると共に、地域の復興景気を捉え業績にも大きく貢献。その後は、東京支店長、九州支店長として勤務し、平成29年度九州支店過去最高の売上げを達成。定年後の現在も営業担当部長として後進の育成指導に注力しながら新たな販路拡大に意欲的にチャレンジしている。



## 平田 光晴

ハスクバーナ・ゼノア(株)

国内営業本部

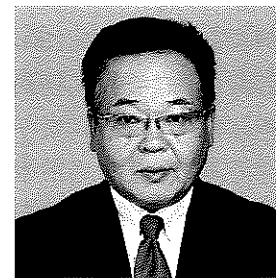
中部支店

営業担当部長

(勤続年数 25.11年)

### 【功績の概要】

平成4年入社後、営業部門に配属となり、13年間大阪支店に勤務後、支店長として北海道支店に赴任。道内の営業習慣を踏まえ、道内限定商品の提案や全農ルートの拡大を実施するなど、新たな販売ルートの開拓に尽力。その後、平成25年に中部支店長として販路拡大を図り、平成29年度には中部支店過去最高の売上を達成。定年後も担当部長としてメーカー会の会長職を勤めるなど、中部北陸地区の要的存在である。



## 金子 宏隆

本田技研工業(株)

(株)ホンダパワープロダクツ

ジャパン営業部

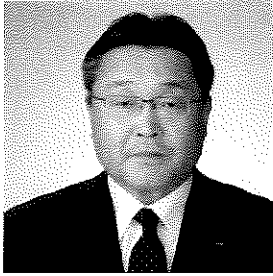
エリア販売課(出向)

(勤続年数 39.1年)

### 【功績の概要】

昭和54年ホンダSFに入社後、本田技研工業(株)のパワープロダクツ(汎用)の営業・サービスの担当として、農業機械の拡販に尽力。また、取引販売店への営業やサービス研修を通じて、お客様への取扱説明やサービス知識向上など、販売店の指導育成における功績は多大なものがあり、合わせて後進の指導・育成における貢献も非常に大きい。





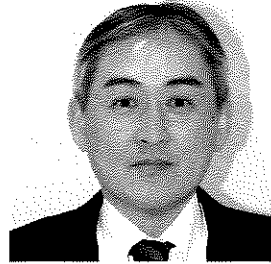
## 上野 功

松山(株)  
執行役員  
営業部長  
(勤続年数 34.1年)

### 【功績の概要】

入社以来一貫して営業部門に従事。この間、市場開拓と営業基盤の確立に尽力した。平成17年からは岡山営業所の所長に就任し厳しい市場環境の中、常に適切な戦略を練りシェアアップに貢献した。その優れた手腕は高く評価され、平成28年からは営業部長として営業所の指導、各部門間調整等にリーダーシップを発揮し、目標を達成してきた。

動を行い、自社商品のシェアアップに大きな成果をあげた。その活躍が評価され静岡、葛西の営業所では所長に任命。売上高の拡大はもとより、ブランド力の強化や後進の指導にも尽力し、社の発展に大きく貢献した。



## 大木 伸

(株)山本製作所  
ソリューション事業部  
施工技術部  
(勤続年数 35.1年)

### 【功績の概要】

昭和56年入社後、製造部門に在籍し、生産技術の向上や品質管理に携わり、高品質の商品づくりに寄与した。平成18年から施工技術部に配属となり、工事にかかわる製品、部品の手配を中心に行い、社業発展に大きく貢献している。

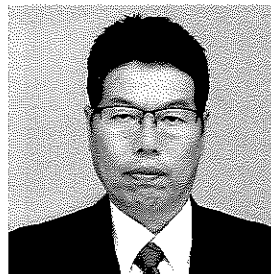


## 宮内 栄一

(株)丸山製作所  
国内営業本部  
九州支店支店長  
(勤続年数 26.7年)

### 【功績の概要】

入社以来一貫して営業部門に所属し、主に九州地区を担当。同地区における販売の促進、営業網の整備、販売計画の策定に従事。当社の業績向上に大きく貢献した。

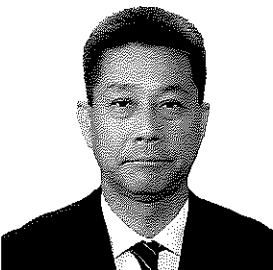


## 堀之内 成人

(株)山本製作所  
農機営業部九州営業所  
南九州事務所  
(勤続年数 28.6年)

### 【功績の概要】

平成元年入社以来、仕事に対する真面目な姿勢が南九州地区の圧倒的なシェア獲得に貢献した。気遣いができ優しい性格だが、目標意識が高く負けん気が強い性格でもある。その性格は知識習得にも活かされ、周りから信頼される存在であり、社業発展に大きく貢献している。



## 田所 浄

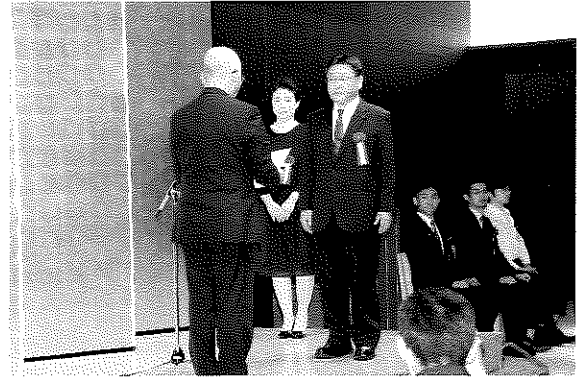
(株)やまびこ  
やまびこジャパン(株)  
東日本支社東京支店  
担当課長 (出向)  
(勤続年数 37.1年)

### 【功績の概要】

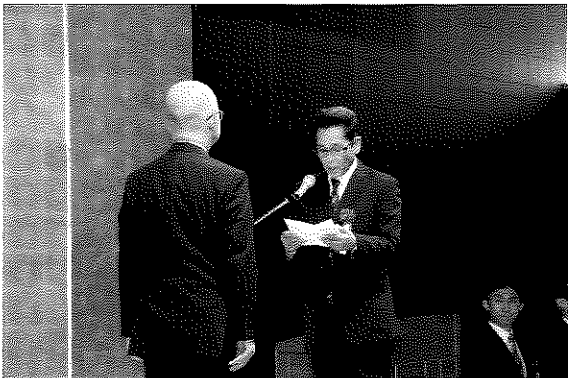
昭和56年入社以来、一貫して営業の最前線で活躍。北海道、新潟、埼玉と幅広いエリアで営業活



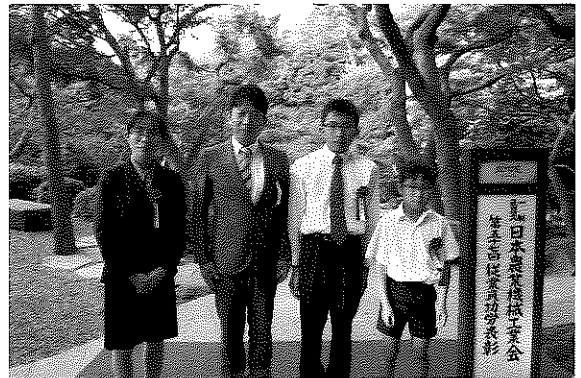
静岡製機(株) 室橋 裕さん



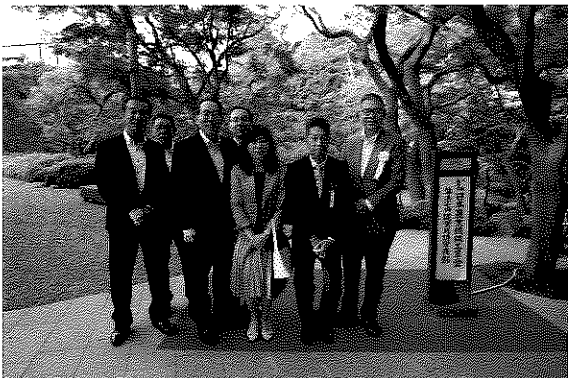
松山(株) 上野 功さん



代表謝辞 ハスクバーナ・ゼノア(株) 野村 貢さん



小橋工業(株) 遠藤忠治さんご家族のみなさん



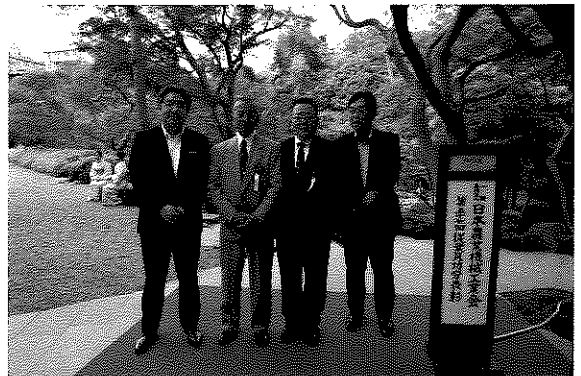
(株)やまびこ 田所 浄さん



(株)太陽 山崎泰幸さん、大崎聖二さん、片岡浩一さん



キャニコム 齊藤絹子さんと藤原明子さん



(株)本田技術研究所 飯野啓司さん  
本田技研工業(株) 金子宏隆さん

# ISO/TC23/SC3 会議出張報告

## 1. はじめに

現在、日農工では、JISC（日本工業標準調査会）の承諾の下に当会が国内審議団体になっているISO/TC23（専門委員会：農業用トラクタ及び機械）に関し、全てのSC（分科会）へ参加登録を行っています。

このうち、本年4月にブラジル・フロリアノポリスにて開催されたSC3のPlenary（総会）に出席しましたので、審議内容について報告します。

今回、SC2、SC3、SC4のPlenaryが開催されましたが、そのうちSC3（乗員の安全性及び快適性）では、ロボット農機の安全性について、製造者に求められる安全性確保策の規格「ISO 18497 Agricultural machinery and tractors -Safety of highly automated agricultural machines」の検討が進められており、日本も2016年12月にPメンバーとして加盟、作業グループ（WG15 Automated machines）にて国際規格の作成に参画しています。

### TC23に設置されているSC

( ) は日本の参加地位

SC2	一般試験 (O)
SC3	乗員の安全性及び快適性 (P)
SC4	トラクタ (O)
SC6	収穫物保護設備 (P)
SC7	収穫及び保存設備 (O)
SC13	芝生及び園芸用動力機械 (O)
SC14	操作制御、操作記号・表示及び操作マニュアル(O)
SC15	森林用設備 (O)
SC17	携帯式林業機械 (P)
SC18	灌漑・排水装置とシステム (O)
SC19	農業用電子設備 (P)

注：(P)=Participating member（積極的に参加）  
(O)=Observer member（オブザーバーとして参加）

## 2. TC23/SC3の審議内容

(1) 日 時 平成30年4月25日(水)～26日(木)

(2) 会 場 ブラジル・フロリアノポリス

(3) 出席者 日本：革新工学センター・紺屋秀之、  
日農工・松山徹

ベルギー、ブラジル、カナダ、フランス、ドイツ、イタリア、英国、米  
国から計51名

(4) 議事内容

### ① 開 会

ChairmanのMichael DeSpain氏(米国)より、今回、ホストを務めたABNT(Associação Brasileira de Normas Técnicas)に対して感謝の意が示された。

② 代表者のロールコール（参加者の自己紹介）

③ 議題の採択

④ 事務局報告

・現在のSC3参加メンバー

Participating Countries (21カ国)

Observing Countries (12カ国)

・ISO 18497策定プロセス (3.参照)

・WG（作業グループ）の設置、解散

WG 16 Safety of soil-working equipmen (解散)

WG 17 Safety of fertilizer distributors (解散)

WG 21 Controls (revision ISO 15077) (設置)

WG 22 Braking (SP machinery) (設置)

⑤ 活動報告

以下の規格について、制定(改正)の手続きのための審議が行われた。

－ ISO 4254-5 農業用機械－安全性－第5部：  
動力駆動式耕作機械（改正）

－ ISO 4254-8 農業機械－安全性－第8部：固

形肥料散布機（改正）

- － ISO 4254-9 農業機械－安全性－第9部：種まき機（改正）
- － ISO 18497 Highly automated machines
- － ISO 4254-16 農業機械－安全性－第16部：Portable grain augers
- － ISO 15077 農業用トラクタ及び自己推進型機械－オペレータ制御装置－駆動力、押しつけ容積、配置及び運転方法（改正）
- － ISO 4254-1 農業機械－安全性－第1部：一般要求事項（追補）
- － ISO 17962 農業機械－播種用機器－空気圧システムからのファン排気の影響の最小化（改正）
- － ISO 22464 Braking

#### ⑥ 今後の会議予定

ISO 4254-1の改正に関するフォローアップ会議を2018年10月22日にドイツで開催する。

次回のPlenaryも他のSCと共同開催を予定、ただし、開催日・場所は未定。

#### ⑦ その他の事業

今後、以下に規格について定期見直しが始まる予定。

- － ISO 12140 農業機械－農業用トレーラ及び被けん引装置－ドローバジャッキ
- － ISO 4254-1 農業機械－安全性－第1部：一般要求事項
- － ISO 16231-1 自走式農業機械－安定性の評価－第1部：原理

#### ⑧ 閉会

Chairmanより、各国の参加者、ホストを務め

たABNT、そして開催をサポートしたABIMAQ、AGCO、CNH、Jacto、John Deere、Kuhnの方々に対して感謝の意が示されて閉会した。

### 3. ISO 18497に関する内容

ISO規格策定合意までのプロセスで、ウィーン協定\*に基づき、CEN（欧州標準化委員会）のコンサルタントは、通常DIS（国際規格案）の段階で原案修正を行うことになっていたが、今回、FDIS（最終国際規格案）の段階に入ってから大幅な原案変更が行われた。

このことは、規格策定作業が遅れただけでなく、ウィーン協定の規則にも反し、国際調和の信頼関係を失うとして、SC3は現状の合意までのプロセスに対する不満を示すことになった。今後は、CENコンサルタントの評価が並行して反映できるよう、プロセスを再編成するようISO事務局に意見提出することを全会一致で了承された。

ただし、ISO 18497に関しては、規格の策定が遅れていることから、規格発行を優先し、今回の修正意見を受け入れて、国際規格発行承認手続きを行うことになった。

なお、SecretaryのNorbert Alt氏（ドイツ）から、ISO 18497発行後、WG15は解散することとなるが、技術動向の展開が早いので、改正要求の内容によっては、定期見直しより早い段階での改訂もあり得るとし、ISO 18497の原案作成に関与したWG15メンバーに感謝の意が示された。

\* ウィーン協定について

ISOとCENの間で1991年5月17日に結ばれた、規格開発における相互の技術協力に関する協定。共同で規格を検討することを定め、CENによるDISの作成を認めたもの。



TC23/SC3/WG15の会議風景

#### 4. 雑 感

ISO 18497に関して、前述のとおり、CENのコンサルタントがFDISに対して修正を加えたこと  
の事実関係を会議の合間に確認をしようということ  
で、革新工学センター・紺屋氏と相談をしてい  
た。しかし、会議の中で詳細な経過報告があり、  
さらにはISO事務局に意見提出を行う提案もあつ  
て、会議の中で確認をすることができた。

会議は、ChairmanとSecretaryが中心となって  
効率的に進行されたが、今回の問題では、急遽、  
今後の対応策などについて審議が行われた。規格  
開発にあたっては、情報を共有しながら全員で問  
題解決を図っていくといった体制の一端を垣間見  
る思いがした。

ISO会議は、会議だけで無くロビー活動も重要  
な活動と言われる。限られた時間で、拙い英語力  
ではあったが、各国の方と有意義な交流が出来た  
と思う。



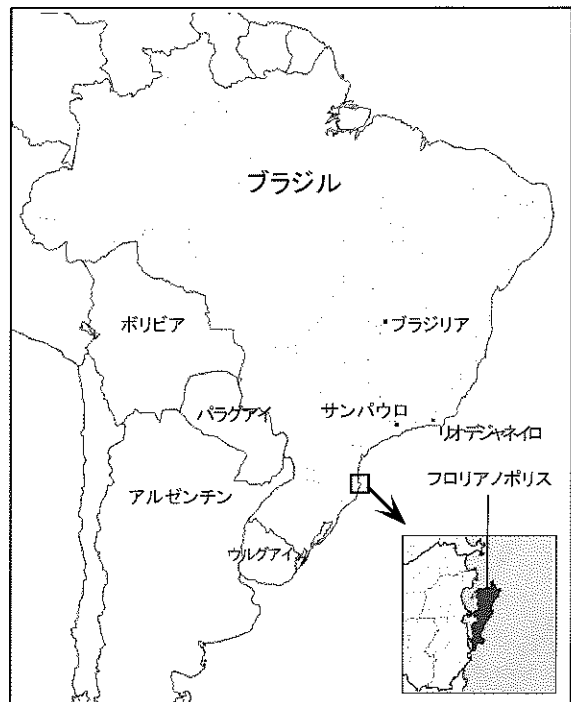
歓迎パーティでの主催者の挨拶

#### フロリアノポリスについて

ブラジルは日本の反対側というイメージがありますが、正確には、沖縄本島が広いブラジルの陸地に位置し、東京は南大西洋の沖合約1,000kmとなります。今回、会場となったサンタ・カタリーナ州の州都「フロリアノポリス」は、奄美大島の東沖200kmくらいの真裏に位置する島(サンタ・カタリーナ島)で、南米大陸とは橋でつながっています。

フロリアノポリスは、リゾート地で島の周囲はほとんどが砂浜の海岸になっています。海岸通りには、水着やサーフショップなどのお店がたくさん並んでおり、水着で歩く人もちらほら見かけます。外海側は波が荒く、サーフィン好きの方には格好の場所でしょう。

4月はシーズンオフなのか人影も少なく「のどかな田舎の海岸」と言った風情です。ブラジルは治安が悪いという先入観がありましたが、この地は上品な町並みで、治安も良く過ごしやすかったです。



(日農工・松山)



# Photo Gallery ③⑤



長野県 浅野舜平さん

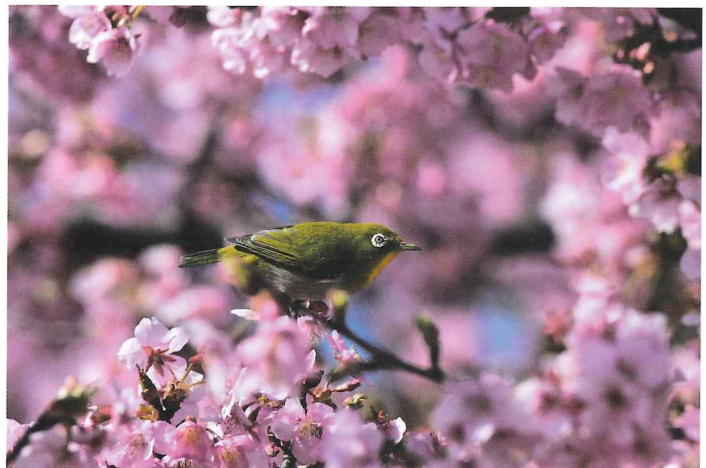
タイトル: えもんかけ

良いタイミングで巣作り材料を集めるカラスの写真が撮れました。(^^)  
早朝に鳴かれると、うるさすぎてカラスや、あっち行ってくれと思いますが  
こうやって見るとすごく可愛いです。

埼玉県 森田 清さん

タイトル: 春のメジロ

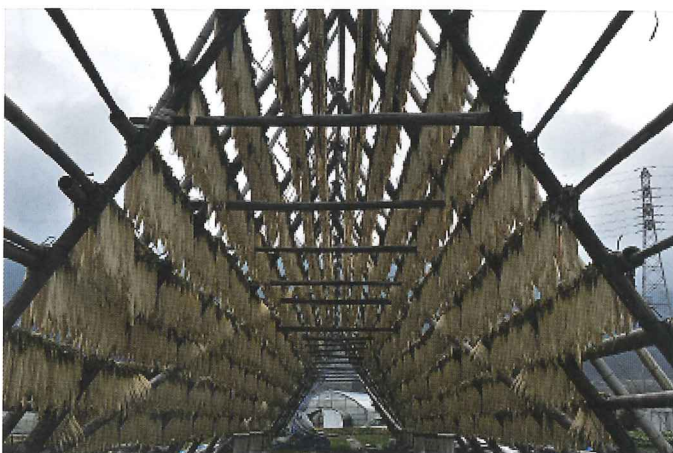
いせさきの森公園(群馬県)の河津桜に、  
メジロたちが集まってきました。



福岡県 稲葉直孝さん

タイトル: 宮崎の大根干し

子供の頃、私の母は食べ物が乏しくなる冬場に“寒干し”の野菜をよく作ってくれました。カボチャや大根リンゴなどを干したもので、母親の愛情がたっぷりの時にはそれが主食だった日もあります。きれいに並んだ商用の大根を見て、懐かしく故郷を思い出しました。







熊本県 寺田知子さん

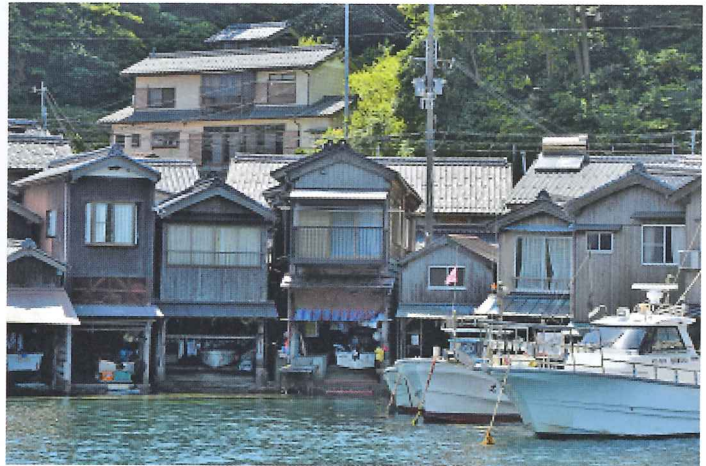
タイトル: ぼした祭り

加藤清正が朝鮮出兵で戦い勝利し、滅ぼしたので「ぼした祭り」と十数年前までは、そう呼んでいました。今は普通のつまらない呼び名になって藤崎八幡宮秋の大祭と言っています。馬の急所をムチで叩き馬が暴れるのを余興にする？祭りです。(これは虐待じゃないのかにゃ…)昔は多数のケガ人や亡くなる人まで出たんですよ。

愛知県 衛藤イマリさん

タイトル: 舟屋①

丹後半島伊根の舟屋。  
あいにくの晴天で「雨の舟屋」を撮りたかったのですが、とても残念です。



愛知県 衛藤イマリさん

タイトル: 竹田城跡②

竹田城は「天空の城」と、いつの間にか呼ばれるようになりました。晩秋のよく晴れた早朝に、朝霧の発生する日があつて、それはそれは絶景なのだそうです。もう一度訪れてみたいと思います。





兵庫県 野沢秀明さん

タイトル: 政府専用機(羽田空港)

日の丸が美しく輝くボーイング747です。日本の要人を乗せる飛行機は本当に2機あるのですね。

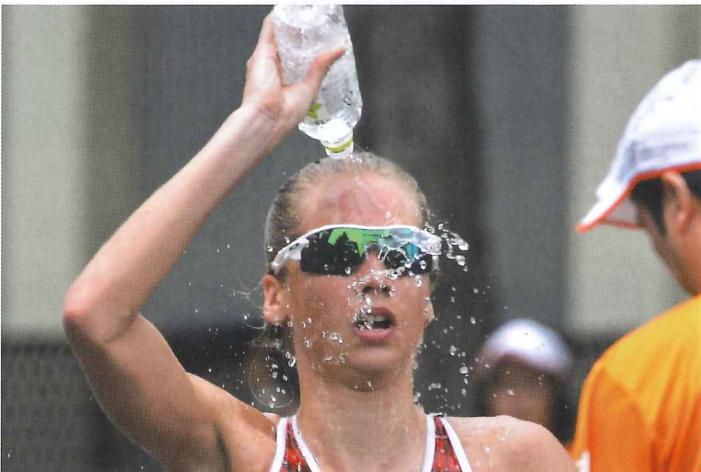
主務機と約30分の間隔をとって副務機が飛び立つとのこと。

この日の丸は大変カッコいいです!

富山県 田代 守さん

タイトル: ジャンボ西瓜

富山県入来町のジャンボスイカです。スイカの縛り方を初めて見ましたが、感心致しました。上と下にクッションが有り見事な技の継承です。



東京都 藤原亮太さん

タイトル: トライアスロン世界大会

2018年5月12日(土)横浜トライアスロン世界大会に行ってきました。毎年行きますが観客が増えません。日本はトライアスロンファンが少ないのでしょうか?

マラソン単体だと熱はすごいのにね。激しく面白い競技なのでもったいないです。

### 投稿写真を募集しています

- ・次回秋季号の写真切りは平成30年9月20日です。ジャンルは自由です。
- ・フィルムカメラや、デジタルカメラで撮影した写真を、必ずタイトルとコメントを添えてご応募下さい。採用された方には記念品を送らせていただきます。

応募先: 一般社団法人日本農業機械工業会 〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8

E-mail: sunflower@jfmma.or.jp



## Q: 前立腺肥大症と 前立腺がんについて知りたい

〈相談者／58歳男性〉

2～3年ほど前から、尿が出にくく、排尿回数もふえてきましたが、日常生活に著しい支障はまだありません。年齢的に前立腺肥大症かと思いますが、前立腺がんの可能性はあるのでしょうか。すぐに受診すべきか、どんな検査が行われるのか教えてください。

### A: 前立腺肥大症は尿道近くが腫れて頻尿に。前立腺がんの多くは初期症状はないが、合併することもある

前立腺は膀胱の直下にあり尿道を取り囲んでいます。加齢とともに前立腺(とくに尿道に近い内腺部分)が腫れて尿道を締めつけ、尿が出にくくなるのが前立腺肥大症です。前立腺は精液を作る臓器です。年をとって精液が作られなくなってくれば縮むのが普通で、実際7割の人では年とともに前立腺は縮みます。しかし、残り3割の人では加齢とともに前立腺が大きくなります。ホルモン環境が変わるため、という説もありますが、原因ははっきりしていません。尿を絞り出そうと膀胱ががんばる(膀胱ががんばりすぎる状態を「過活動膀胱」といいます)ので頻尿になります。進行すると膀胱にたまった尿をすべて出し切れなくなって残尿が生じ、ますます頻尿となります。

ご相談者は頻尿があっても支障はない、とのこと。頻尿の原因が過活動膀胱の段階なら、

困ってから治療でもよいのですが、大量の残尿が頻尿の原因である場合は、腎臓にも悪影響を与えますので、診察は受けた方がよいでしょう。診断に必要な検査は超音波検査と尿流測定だけで、痛い検査はありません。まず、下腹部に超音波をあてて前立腺の大きさを測り、機械に向かって排尿していただき尿の勢いを測り、もう一度下腹部に超音波をあてて膀胱がからっぽになったかを調べます。

前立腺がんの多くは尿道から遠い外腺にできるため、初期には症状は出ません。しかし、前立腺肥大症に前立腺がんが合併することも多く、尿の出にくさや頻尿で泌尿器科を受診した人に前立腺がんが見つかることもあります。前立腺がんは血液検査でPSAという腫瘍マーカーを調べただけでチェックできます。PSA検査は健診や人間ドックのオプションとして受けることもできます。前立腺がんは通常ゆっくり進行します。早期で発見された場合、定期的にPSA値を測定して観察しながら、治療開始時期や治療法を検討することになります。

回答者：木村泌尿器皮膚科(神奈川県)木村明院長



## アグリエボリューション東京会合の報告

田 村 敏 彦  
(日農工・専務理事)

世界 14ヶ国+ EU の農業機械工業会の集まりであるアグリエボリューションの会合が 5月 15、16 日に東京で開催されました。アグリエボリューションは、2009 年 11 月にドイツ農業機械協会 (VDMA の内部組織) の呼びかけで、世界主要国の農業機械関係団体による情報交換の場としてスタートし、その後、年 1～2 回のペースで会合を行っています。日本からは一般社団法人日本農業機械工業会が 2014 年 1 月から正式メンバーとして参画しています。なお、それ以前は散発的にオブザーバーとして参加していました。

今回は日本で初めての開催となり、アメリカ、ドイツ、イタリア、イギリス、スペイン、トルコ、ロシア、中国、韓国、日本の 10ヶ国が参加し、日農工がホストを務めて機械振興会館内の会議室で 2 日間行なわれました。

### ■ Meetings Time table

Day	Time	Meeting
May 15	9:00-	Welcome of delegates
	9:30-15:00 (11:30-12:30)	Economic Committee Meeting (Lunch)
	15:15-17:00 (18:00-)	Statistics Governance Committee Meeting (Welcome Dinner)
May 16	9:00-10:00	Industry Issues Committee Meeting
	10:15-15:15 (12:30-13:00)	Steering Committee Meeting (Lunch)
	15:30-17:00	Communications Committee Meeting

### ■ Participants

Country	Association	Name
USA	AEM	Charlie O' Brien
		Anita Sennett
		Curt Blades
		Rex Sprietsma
UK	AEA	Ruth Bailey
		Stephen Howarth
Germany	VDMA	Bernd Scherer
		Philip Nonnenmacher
Italy	FEDERUNACOMA	Marco Pezzini
		Fabio Ricci
Spain	ANSEMAT	Ignacio Ruiz
Turkey	TARMAKBIR	Selami Ileri

Russia	ROSAGROMASH	Natalia Negrebetsky
China	CAMDA	Mao Hong
		Alexandr Sun
Korea	KAMICO	Kvu Chul Nam
		Ashlev (Yoo Jeong)
Japan	JAMMA	Toshihiko Tamura

各国の市場動向について情報交換を行う Economic Committee、統計データの新たな枠組みを議論する Statistics Governance Committee、各国の共通課題を議論する Industry Issues Committee、対外広報などを議論する Communication Committee、全体の企画運営を統括し意思決定を行う Steering Committee の 5 つの委員会がそれぞれ順次開催され、朝 9 時から夕方 5 時まで熱心な議論が行われました。



## トピックス

### ・ Economic Committee

次回以降の各国のカントリーレポートにトラクターの貿易データ（通関統計ベース）を追加する。

### ・ Statistics Governance Committee

個社の出荷データを収集して集計分析し、その結果をインデックスデータとして提供する。なお、各国の競争法（コンプライアンス）を考慮して、データ提供企業の勧誘については各団体の判断に委ねる。

### ・ Industry Issues Committee

途上国の機械化を促進するために、世界銀行のレポートを参考にして、スペイン ANSEMAT が対策案を作成する。

### ・ Communication Committee

新しいコミュニケーションツール（SNS など）の可能性を探る。委員長には FEDERUNACOMA の Marco Pezzini が選出された。

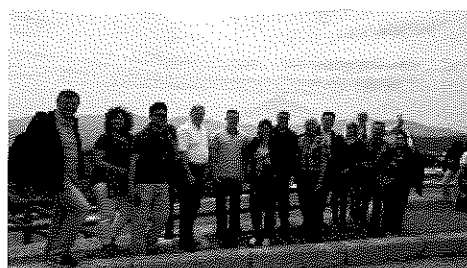
### ・ Steering Committee

昨年 AEM から提案のあった「各国会員企業の技術者等による Annual Technical Meeting の開催」については、ドイツとイタリアなどから「労多いわりに利が少ない」との消極的な意見が出て、とりえず「各国の補助金情報」に絞って情報共有する方向に軌道修正された。提出様式の素案をトルコの TARMAKBIR が作成することになった。次回の Summit（公開セミナー）は、立候補

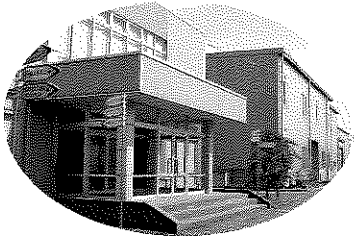
しているスペインの ANSEMAT がホストを務め、2019 年 10 月中旬頃に開催することで調整する。テーマやプログラム構成は次回会合で検討する。開催候補地はバルセロナが有力。次回会合は、世界 3 大農機展示会の 1 つである 11 月の eima（イタリア・ボローニャ）に併せて開催し、展示会の主催者でもあるイタリアの FEDERUNACOMA がホストを務めることになった。

## 番外編

会合翌日の 5 月 17 日は、国際会議で恒例となっている小旅行を実施しました。箱根方面へのバス旅行でしたが、箱根神社参拝、大涌谷からの富士山眺望、日帰り温泉など、日本の伝統文化と自然の美しさに触れ、日本のすばらしさを十分に堪能し、各国の参加者は“Fantastic!!”を連発していました。夜 8 時過ぎに無事に東京タワー前に到着、3 日間のイベントは成功裡に終了しました。（以上）



富士山を背景に大涌谷にて



## 地域未来牽引企業

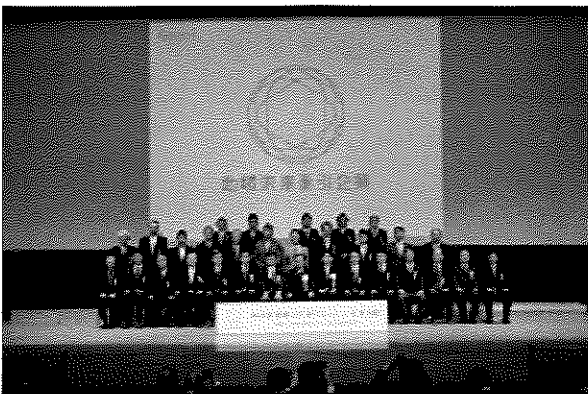
フジイコーポレーション(株)

システム管理 森田理恵

4月14日土曜日、会津若松市にて\*地域未来牽引企業サミットが開催されました。サミットでは、昨年未選定された地域未来牽引企業への“選定証授与式”が行われ、代表企業50社ほどが、壇上にて世耕経済産業大臣より選定証を授与されました。弊社も代表企業として参加し、選定証を受け取りました。



世耕経済産業大臣より選定証授与



地域未来牽引企業サミット in 会津若松

\*地域未来牽引企業サミットとは？

地域未来牽引企業とは、地域の特性を活かし、地域経済を牽引する企業、又は牽引することを期待される企業です。昨年末、全国で2,148社が地域未来牽引企業に選定されました。

### ◆弊社の選定理由

地域未来牽引企業として弊社の特徴は2つあります。

1つ目は県内で高い調達率で地域経済に貢献。

2つ目はダイバーシティー経営をテコに海外での販売先拡大です。

#### ①県内で高い調達率で地域経済に貢献

機械事業では県内で購入できない部品を除き、約95%以上を県内の会社より購入しています。県内で購入していない数%は、県外の取引の長い会社から購入しています。中には、取引が約100年に渡る会社もあります。取引の長い会社は、弊社の景気がいいときも悪いときもずっと一緒に支えあってきた会社です。弊社では、そのように苦楽を共にしてきた県外の会社も大切にしています。もちろん、県外の取引先も大切にしています。

多くの部品を県内から調達するのは、創業の地である新潟県燕市と共に発展していきたいという思いが強くあるからです。

#### ②ダイバーシティー経営をテコに海外での販売先拡大

平成24年にダイバーシティー経営企業100選に選定されました。弊社では、高齢者、女性、外国籍の社員、障がい者など、様々な社員が活躍しています。社員数140名ほどの会社ですが、言語に関しては、弊社は8カ国語に対応が可能です。





フジイのブース(タイ展示会場)



人材の国際化・弊社社員新潟大学大学院卒

もちろん英語が話せれば、多くの国や地域をカバーできます。しかし、現地の言語を話せたほうが、お互いをより理解でき、お客様にも安心していただけます。またお客様に細やかなサポートをするため、販売先の言語を勉強する女性社員もいます。彼女らの活躍により、さらに海外における販路を拡大する予定です。

## ◆フジイニュース

①地域未来牽引企業として、除雪機メーカーらしいボランティア活動を行いました。

その第一弾として、2月末、JR 上越新幹線燕三条駅燕側の除雪をボランティアで行いました。今年は例年に比べ雪が多く、各地で交通障害が多く起こりました。燕三条駅も降り積もった雪で駐車場は狭くなり、駅前ロータリーでも送迎の車でさえ止めることが出来ないような状態でした。

また、雪のため足場も悪く、革靴で移動するビジネスマンは転倒しないように恐る恐る歩いていました。そのような状況の中、もっと気持ちよく燕三条駅を使っていたきたいと、ボランティア

で除雪を行うことになりました。駅や燕市の許可を取り、除雪作業を行いました。新型の大型除雪機と中型除雪機の2台を持って行き、社員10名で除雪を行いました。

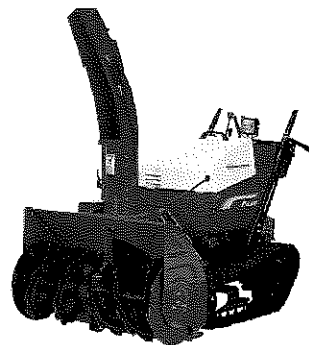


燕三条駅前を元気いっぱい除雪する社員

歩道などを傷つけないように、固まった雪はスコップで壊しながら作業を進めていきました。排雪する場所もないので、弊社のトラックに積み込み、社内の雪捨て場まで運び出し、排雪することを繰り返し、一日かけて駅前をきれいにしました。

## ②オリンピック会場へ除雪機を納入

平昌オリンピック・パラリンピックの競技会場にフジイの除雪機が納品されました。ジャンプ台の設営等で使われ、いくつかの会場に納入されました。

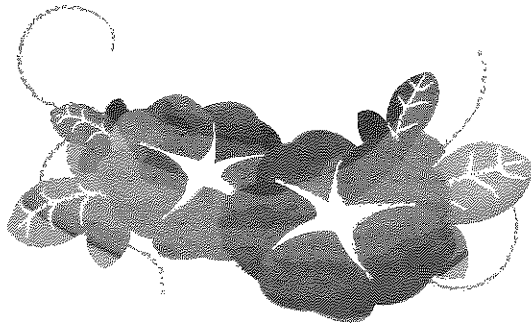


平昌オリンピック会場に納品された小型除雪機

## ◆フジイコーポレーションの歴史と未来

1865年(慶応元年)創業の弊社は、2020年には創業155年を迎えます。今後も地域未来牽引企業として模範となるよう精進してまいります。

またダイバーシティ経営を通じ、世界に通用する魅力ある除雪機や乗用草刈機、ツインカッター方式の自走刈払機をお届けしてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いたします。



# 日農工 だより

## ◆第55回定時総会の開催

5月29日(火)港区白金台の八芳園にて、第55回定時総会を開催いたしました。

①平成29年度貸借対照表及び正味財産増減計算書について、②理事の交代について、2件の審議事項はそれぞれ承認されました。

総会につづいて第148回理事会を開催し、新役員が承認されました。その後、第57回従業員功労表彰式を執り行い、会員企業から推薦を受けた31名の受賞者に、木下会長より表彰状が授与されました。(1~8ページ参照)



木股新会長と副会長6名

## 叙勲受章のお知らせ

平成30年春の叙勲において、株式会社啓文社製作所の手塚弘三会長が旭日小綬章を受章されました。教科書供給功労が評価されての荣誉となりました。ご受章を心よりお祝い申し上げます。

## 受賞のお知らせ

小橋工業株式会社(小橋正次郎社長・岡山市南区中畦684)が、優れた中小企業を表彰する2017年度「グッドカンパニー大賞」を受賞されました。

同賞は経済的、社会的に優れた成果を挙げている企業に贈られるもので、農機業界からは同社がグッドカンパニー大賞の“優秀企業賞”に選ばれました。耕うん爪では全国シェアの5割を製造し、ロータリー、代かきハロー、あぜ塗機などを製造。

ユーザーの声を第一と捉え、きめ細やかな情報収集により、常に新しい製品を創造する企画力、さらには開発力が選考理由となりました。

ご受賞誠におめでとうございます。

## ◆入会のお知らせ

ヤマハ発動機株式会社(代表取締役社長 日高祥博・静岡県磐田市新貝2500)が、平成30年4月1日付けで日農工正会員となりました。

### 今後の主なスケジュール

◇ 平成30年10月29日(月)

ANAクラウンプラザホテル新潟

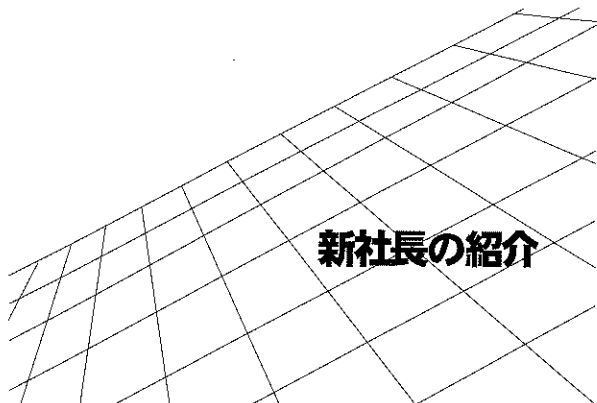
- ・幹部会 12:30~
- ・地方大会・理事会 14:00~
- ・懇親会 17:00~

10/30(火)有志によるゴルフ懇親会

◇ 平成31年1月11日(金)

新年賀詞交歓会 12:00~13:30

八芳園(東京都港区白金台1-1-1)



## 新社長の紹介

### 〈片倉機器工業株式会社〉

峠 賢治(とうげ・けんじ)氏が代表取締役社長に就任されました。峠社長の主な経歴は、昭和51年片倉工業(株)機械電子事業部大官



製作所入社、平成15年片倉工業(株)機械電子事業部環境システム部、平成21年片倉工業(株)機械電子事業部加須工場、平成27年片倉工業(株)機械電子事業部長、平成30年片倉機器工業(株)顧問、平成30年3月7日片倉機器工業株式会社代表取締役社長にご就任。

新社長に抱負を語っていただきました。

「弊社は、昭和21年に農業機械メーカーとして創業して以来、『お客様のニーズにお応えした喜ばれる製品作り』を理念とし、長年にわたり水田、畑作、果樹関連の機械などを開発し日本農業の近代化の一端を担ってまいりました。

この間、新技術の追求とノウハウの蓄積に努め、片倉工業株式会社のグループ企業として成長してきました。

これからも『消費者を大切にしたもの作り』をモットーとして、これらの技術を基に新しい分野にも企業活動を展開してまいります。

今後も皆さまのいっそうのご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。」

趣味は、読書

現在は浅田次郎さんにはまっているそうです。座右の銘は、「進取果敢」

積極的に取り組み、失敗を恐れずに決断して前に進むこと。

岩手県出身、血液型はB型  
家族は、夫人、長男、長女

(本社所在地)

〒390-1183

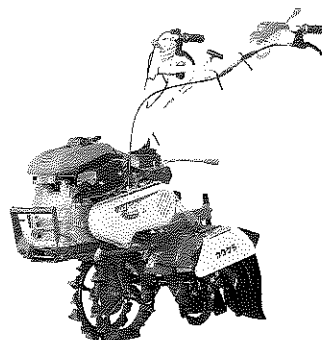
長野県松本市大字今井字松本道7160

片倉機器工業株式会社

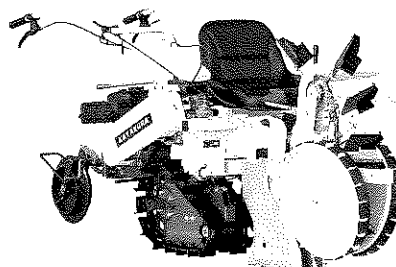
TEL0263-58-4711 / FAX0263-86-2844

**カタクラ** 自走自脱、大豆脱粒機、一・二輪管理機、各種乗用自走野菜移植機、薬剤散布機、自走カタタ、高所作業台車、電動作業台車、ベビーリーフ収穫機

ホームページ <http://www.katakurakiki.co.jp/>

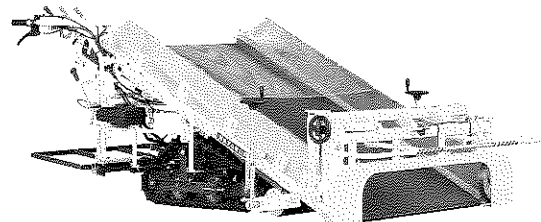


管理機:KSD600GW 多彩な機能を装着したプロ向け管理機



ニラ移植機:PNK-01

椅子に座ったまま移植作業が可能な乗用タイプ



ベビーリーフ収穫機:KBL100-2

簡単な操作でベビーリーフ等の収穫が、一段と楽になります。2型よりコンペアー上下が油圧式となりました。

## 〈ヤンマーアグリ株式会社〉

北岡裕章(きたおか・ひろあき)氏が代表取締役社長に就任されました。北岡社長の主な経歴は、昭和53年3月ヤンマーディーゼル㈱入社、平



成11年12月ヤンマー農機㈱農機事業本部企画部長、平成15年8月㈱ヤンマー農機九州営業本部長、平成18年3月ヤンマー農機㈱農機事業本部国内推進部長、平成21年2月ヤンマー㈱執行役員就任・農機事業本部長、平成22年3月ヤンマー㈱執行役員・農機事業本部作業機統括部長、平成24年4月洋馬農機(中国)有限公司総経理就任、平成28年1月ヤンマー㈱執行役員・アグリ事業本部海外推進部長、平成30年4月ヤンマーホールディングス㈱常務執行役員、平成30年4月2日ヤンマーアグリ㈱代表取締役社長兼海外事業部長にご就任。

新社長に抱負を語っていただきました。

「この度、ヤンマーグループでアグリ事業を統括する新会社ヤンマーアグリ㈱の社長に就任致しました北岡です。

当社ビジョンである『農業を食農産業に発展させる』事を実現し、日本はもとよりグローバルなお客様の課題解決と豊かな暮らしに貢献できるように、全力で取り組む所存です。お客様にとっての価値追求を第一とし、常に最適なソリューション提案を続けて行きたいと思えます。

又、工業会の会社会員として、テーマの推進、実現に少しでも貢献してまいる所存です。今後とも、ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。」

趣味は、模型製作・ドライビング(車、バイク)

座右の銘は、「真実は常に現場に有り」

愛知県出身、血液型はA型

家族は、夫人、子供3人、孫4人

(本社所在地)

〒530-8311

大阪府大阪市北区鶴野町1-9 梅田ゲートタワー

ヤンマーアグリ株式会社

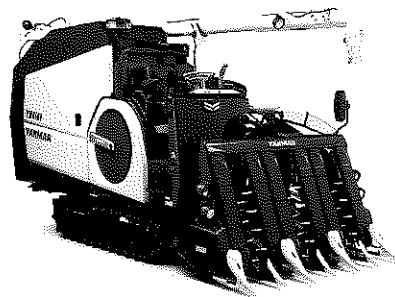
TEL06-7636-9346 / FAX06-6373-1145

ヤンマー 管理機、ティラー、耕うん機、トラクタ、田植機、直播機、防除機、灌水ポンプ、バインダ、コンバイン、自走自脱、自動脱穀機、運搬車、籾すり機、精米機、乾燥機、除雪機、産業用無人ヘリコプター、カッター、結束機、ライスセンター、カントリーエレベータ、籾すり・精米プラント、育苗施設、園芸プラント・施設、酪農機器・施設、各種農用部品、アタッチメント、選果施設、環境保全機器、住宅設備機器、エンジン、その他

ホームページ <https://www.yanmar.com/jp/>



YT333



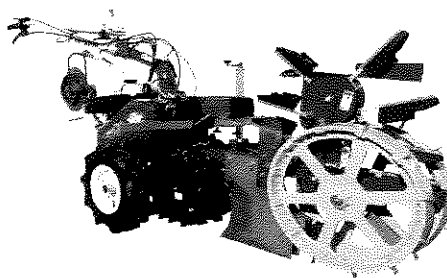
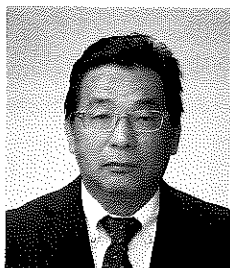
YH6101



## 〈関東農機株式会社〉

鈴木吉男（すずき・よしお）氏が取締役社長に就任されました。

鈴木社長の主な経歴は、昭和54年3月東洋大学工学部機械工学科卒業、昭和55年5月関東農機(株)入社、平成18年4月関東農機(株)執行役員本社工場長兼技術部部长、平成24年4月関東農機(株)取締役本社工場長、平成30年4月25日関東農機株式会社取締役社長にご就任。



にらウエマッスルス KN-1

新社長に抱負を語っていただきました。

「設計・開発から製造そして卸販売まで、部品の一つ一つから自社で作り上げる技術、小規模ながらもあらゆる機械・設備を有した工場に魅力を感じ入社したものでした。長い間、好きな設計・開発の仕事をして貰いました。そして今、経営の責任者の一人として参画する事となり、その責任の重さをひしひしと感じているところです。

『農作業を楽に快適に』という思いを常に持ち、モノづくりをしてきた先人たちに恥じない様、微力ながら創意を駆使し誠意を持って努力していくつもりです。」

趣味は、ドライブ・家庭菜園  
座右の銘は、「創意工夫」  
栃木県出身、血液型はA型  
家族は、夫人、長男、二女、母

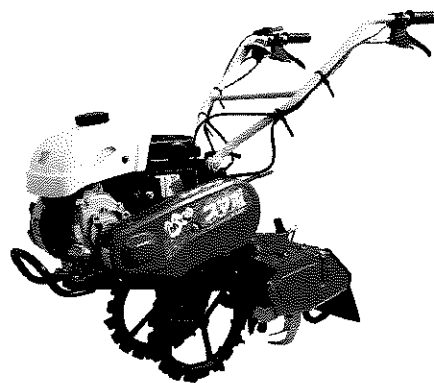
(本社所在地)

〒323-0819

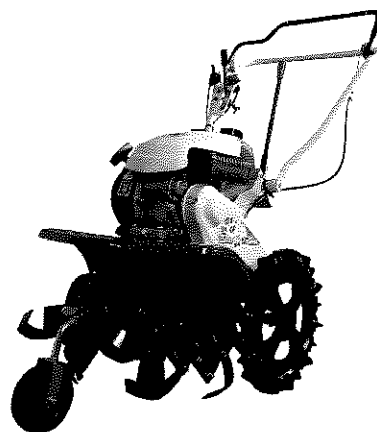
栃木県小山市横倉新田493

関東農機株式会社

TEL0285-27-3271 / FAX0285-27-4627



Smart Pocket スマポ K300-D



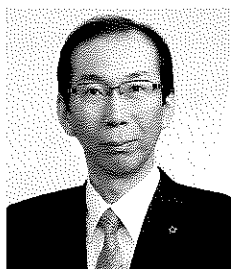
畑のスイッチ KHR350M

**ヘルパー号** 各種管理機、畝整形機、野菜運搬車、たばこ移植機、葉たばこ乾燥機、たばこ畦間作業車、管理用各種ロータリ、各種防除機、マルチ関係、各種肥料散布機、プレハブ冷蔵庫、マイテーカー構内運搬車

ホームページ <http://www.kantonoki.com/>

**〈大島農機株式会社〉**

大島浩一(おおしま・こういち)氏が代表取締役社長に就任されました。



大島社長の主な経歴は、平成2年4月大島農機株

入社、平成15年6月営業推進課長、平成18年3月資材管理課長、平成19年2月取締役開発設計部長、平成21年2月取締役総務部長、平成25年2月常務取締役、平成27年2月専務取締役、平成30年2月20日代表取締役社長にご就任。

新社長に抱負を語っていただきました。

「大正6年の創業以来、農業の機械化と一貫体系を目指す農機メーカーとして、『農家の幸せを創る』をモットーに、厳しい労働からの開放を可能にするさまざまな農業機械の開発に励み、お陰様をもちまして昨年創業100周年を迎えました。

今後は更なる100年を見据えた企業の継続と新入社員が安心して定年まで働けるような企業運営をしていきたい。

また、農業の法人化・大規模化に伴い、農業機械のICT化や海外進出も視野に入れた取組を行っていきたくと考えております。」

趣味は、絵画鑑賞と旅行

新潟県出身、血液型はAB型

家族は、母、夫人、長女、次女

(本社所在地)

〒943-0892

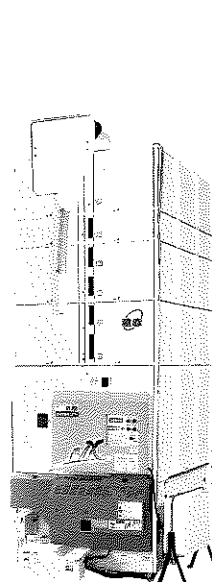
新潟県上越市寺町3-10-17

大島農機株式会社

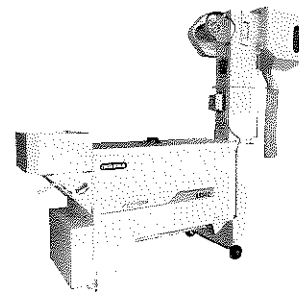
TEL025-525-5940 / FAX025-522-5023

大島 農業用乾燥機、籾すり機、自動選別計量機、粗選機、コンバイン、トラクタ、田植機、農産物保冷库、小型建設機械

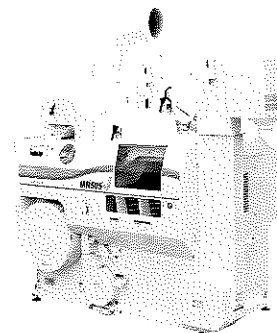
ホームページ <http://www.oshimanoki.com/>



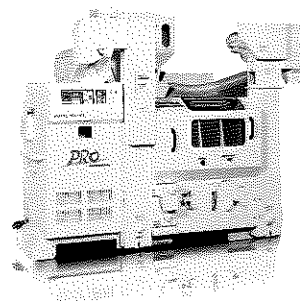
NX400



BG60C



MR505J



MRP6000

**おいしい日本をつかっていこう。**

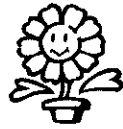
**技術と精度で日本の農業を支える大島農機**

NX300 NX500 NXZ-R RE20-R MRP6000-G NR905J-G MR905J-G BG60C

**☆大島農機株式会社** 営業部 〒943-0892 新潟県上越市寺町3丁目10番17号  
 TEL(025)522-5012 FAX(025)522-5023

<http://www.oshimanoki.com/>



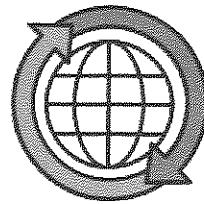


## 編集後記



地球の磁極が反転するって！

- ▽ 地球の磁場は80万年前に一度反転をしたそうです。その分野の専門家の間では、南極が北に、北極が南に存在した時期があったというのが通説のようで、この「ポールシフト（地磁気逆転）」は地球にとっては幾度となく繰り返してきたサイクルらしい。このサイクルの最初のサインとして自転軸の移動と磁場の低下が起きるらしい。最新の発表によると、前回の磁場反転は最初のサインからおよそ100年の間に起きた、とのこと。
- ▽ 近年、地球磁場が急激に弱まっているといわれます。これにより地球内生命体は何らかの被害を受ける可能性があることをNASAが警告したそうです。ポールシフトが起きた場合、太陽から発せられる有害な放射線を防ぐ地磁気がおおよそ200年の間消えてしまうと主張する科学者もいます。最悪の場合、地球が有害な太陽風に晒され大気ははぎ取られてしまうことが予測されています。
- ▽ 磁場反転や磁気消滅で人類は滅亡するのでしょうか？



- ▽ ポールシフトは突然の変化ではなく、非常にゆっくりとしたプロセスなのだと思います。そして、実は磁場反転や磁場消滅はパニックになる必要性もない問題なのだそうです。過去数回の磁場消滅でも大きな問題が起きた痕跡は無い上に、もし仮に問題があるとすれば電力系への影響やガン患者の増加等の可能性があるという程度で、人類の滅亡と直結して考える必要性はないのだと言う科学者もいます。
- ▽ 地球を愛する人類のひとりとして、是非とも後者の説に期待したいものです。

---

ひまわり - 日農工会報 - Vol.62 / 夏季号

平成30(2018)年7月1日発行

発行人 / 田村敏彦

発行所 / 一般社団法人 日本農業機械工業会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号（機械振興会館）

TEL 03-3433-0415 / FAX 03-3433-1528

URL <http://www.jfmma.or.jp>

E-mail [sunflower@jfmma.or.jp](mailto:sunflower@jfmma.or.jp)

